

安保破棄ニュース

No. 501
2019. 1. 18

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六―六七六三―三三三三
FAX 〇六―六七六三―三八三六
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

今年は何 政治決戦の年

主権者国民は決して諦めない！

(事務局長：守山 禎三)



昨年2018年、私たちは確かな国民の大きな力を感じることができました。

その一つが、私たち安保破棄諸要求貫徹大阪実行委員会が、我がこととしてとりくんだ沖縄県知事選挙です。

相手候補は、春の名護市長選挙と同様に官邸丸抱え。自公維が総かりで金と権力を振りかざして沖縄に襲い掛かり、創価学会も会長を先頭に何千人もが沖縄入りしての強権的な組織戦を展開。辺野古新基地建設問題を徹底的に「争点かくし」する中で期日前投票への動員によって市民を惑わし、「反対しても工事は止められない」と「諦め」を誘い、「工事が止まらないなら、経済を良くしてほしい」と思わせて市民を分断し、政権言いなりの知事を誕生させられると、安倍政権は考えていました。

しかし結果は、「新基地建設反対」を真正面に掲げて「オール沖縄」でたたかった玉城デニー氏が大差をつけて当選しました。

その背景には、幾度となく沖縄県民が示し続けてきた「新基地建設反対」という明確な「民意」に、いとも寄り添うことなく、建設工事を強行し、県民を愚弄し続ける安倍政権への抑えきれない怒りが有りました。

そして今、法治国家の政権であるはずの安倍政権が、またも県民の尊厳を踏みにじり、地方自治を蔑ろにしながら、民主主義をかえりみず、法律を私物化して、辺野古への土砂投入を強行する姿に、誰しもが大きな危機感を覚え、日本全国ばかりか、アメリカでも怒りと批判の声が広がっています。

そしてもう一つ。「戦争する国」をめざし暴走を続ける安倍政権に国民の多くが危機感を覚え、国民と野党の共闘の力が、昨年暮れに閉会した臨時国会において、憲法9条に自衛隊を明記するなどという自民

党改憲案の提示すら許さなかった憲法問題があります。

この二つは、私たち国民の闘いの大きな成果として、誇りあるものですが、いずれも終結したものではありません。

今年はいずれの闘いを終結させ、「主権」を投げ捨て、民主主義を踏みにじって大企業の言いなり、米国追従の強権政治の暴走を続ける安倍政権に終止符を打ち、憲法が生きる当たり前の政治を取り戻すための、政治決戦の年です。

沖縄における2月の県民投票の圧倒的な勝利によって「新基地建設反対」の揺るぎない「民意」を示し、大きな確信をもって4月の衆議院補選や全国の一斉地方選挙において憲法改悪を許さない勢力の拡大につなげ、7月の参議院選挙がいよいよ正念場の闘いとなります。

憲法を愛する国民が心ひとつに共同し、政治を変えるために力を尽くしましょう。

全国から声を上げよう！

辺野古埋め立て反対！！

「辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票」が

2月14日告示、24日で行われます。それに向けて、全国からも「辺野古埋め立て反対」の声を大きく広げていくことが求められています。

具体的な行動の一つとして、現地に入つての支援行動があります。安保廃棄沖縄県統一連は、那覇市内に事務所を設け、1月19日から、本格始動します。辺野古のある名護市でも、やんばる統一連が事務所を開設し活動しています。現地への支援に行こうという方は、大阪安保までご連絡下されば現地との調整等させていただきます。

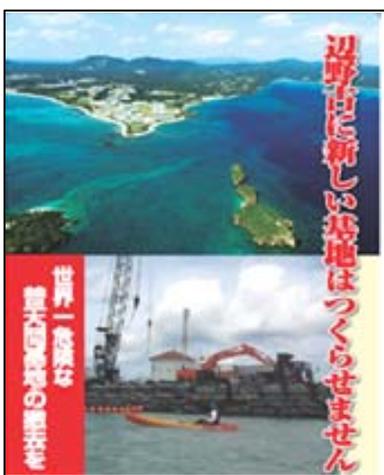
《沖縄統一連事務所・那覇市古波蔵3-20-11千代正マンション1-6 ☎098-987-4830》
《やんばる統一連事務所・名護市宇茂佐の森1-12-8名護民商2階 ☎0980-5214081》

大阪でできる行動として、告示日である2月14日に宣伝行動を行います。18時からJR天王寺駅東口で行いますので、是非、参加ください。

また、4月に全国紙と沖縄2紙へ「沖縄県民の民意に従い 辺野古新基地は中止！普天間基地の撤去！」の意見広告を掲載します。そのための賛同呼びかけを行っています。

団体一口5,000円、個人一口1,000円です。

全国で、この問題を話題にして、日本の宝、世界の宝である辺野古の海を守りましょう。



当面の予定

- 1月
23日(水) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
28日(月) 国会開会日昼休み宣伝(12:15～淀屋橋)
- 2月
3日(日) 「オスプレイ来るな! あいば野大集会」(予定)
(13:30～16:00 高島市文化ホール)
6日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
12日(火) 日米地位協定改定意見書採択を求める府議会要請行動
14日(木) 沖縄県民投票告示に呼応する大阪宣伝行動
(18:00～J R天王寺駅東口)
15日(金)～17日(日) 「沖縄県民投票支援現地行動」
(安保破棄中央主催)
- 22日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
24日(日) 沖縄県民投票
- 3月
6日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 16日(土) 安保破棄大阪実行委員会 2019 年度総会(幹事会)**
(13:30～大阪民医連会議室)
- 22日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
- 4月
3日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
23日(火) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)

大阪で活動する平和友好団体が共催で、12月21日の18時半からたかつガーデンで、「日米地位協定ってどんなもの?」と題して、平和新聞編集長の布施祐仁さんを講師に、学習会を行いました。会場いっぱい62人の参加でした。

布施さんは、ロシア大統領のプーチン氏が歯舞・色丹の返還をめぐって、「日本が決められるのか、日本がこの問題でどの程度主権を持っているのか分からない」「平和条約の締結後に何が起これるか。この質問への答えがないと、最終的な解決を受け入れることは難しい」と発言していることも紹介し、日本の主権が奪われている、国際的にも異常な日米地位協定の問題を話されました。

現在の日本の状況は、憲法の上に日米安保条約・日米地位協定があり、国会の上に日米合同委員会(アメリカの軍人と日本の官僚によって構成されていて非公開)があるということにも触れ、「まずは当たり前前の主権国家としてアメリカとの関係を作っていくかないといけない。憲法が一番上になるように」と話されました。

イタリアの経験や立場などにも触れ、日米地位協定は抜本的に改

主権を取り戻そう!

～日米地位協定改定は急務!～

平和友好9団体共催で学習会開催



12月21日たかつガーデンにて講師の布施祐仁さん

23 宣伝行動

2018年12月の23定例宣伝行動を、23日が日曜日ということで、前倒して12月21日の金曜日に、いつもの通り12時から淀屋橋で行いました。

弁士による訴えとビラ配布と、今回は、辺野古埋め立てに西日本から大量の土砂が搬出される計画に反対する署名を集めました。10人の参加でした。

大阪労連、大阪原水協、大阪憲法会議から弁士を出してもらいました。

中国や北朝鮮の脅威を気にしている人と対話になりましたが、その人も、「米軍には出ていってもらいたい」と話していました。

今年最初の23定例宣伝行動は、23日水曜日に行います。是非ご参加ください。



定しなければいけないし、それが可能なのだということがよく分かる学習会でした。

全国知事会においても全会一致で、日米地位協定の抜本的な見直しを求める提言を採択したことにより、全国の自治体で、同様の意見書採択するように求める運動が広がっています。大阪でも、摂津市と忠岡町ですでに採択されています。大阪府議会に対して、安保破棄大阪実行委員会として、意見書採択を求める要請行動を2月12日に行う予定です。